

自動採血管準備装置仕様書

項番	機能要件
1	自動採血管準備装置 1式
2	オンライン接続作業費用 1式
1.1	装置本体
1.1.1	受信した検体ラベル情報に従って、バーコードラベルが自動貼付された採血管、手貼り用ラベル及び採血指示ラベルを患者毎に1つの採血管トレイに準備できること。
1.1.2	制御用端末は設置面積に配慮し、装置本体に搭載されていること。
1.1.3	採血管供給部、トレイ供給部／排出部が装置本体と一体型であること。
1.1.4	手貼りラベル、採血指示書が発行可能な手貼り用プリンタを装置本体に内蔵していること。
1.2	採血管供給部
1.2.1	採血管種数は8種類以上であること。
1.2.2	適用採血管は、外径13～17mm、長さ78～100mmの市販のものに対応できること。
1.2.3	適用採血管栓種は、ゴム、フィルム、プラスチック、栓無しに対応できること。
1.2.4	個々の採血管供給部に障害が生じた場合、障害が生じた供給部のみ切り離し、手貼り用ラベル発行に切り替えできること。
1.2.5	採血管の残量確認をする為に装置を止めたり、装置を引き出したりせずに確認できる機能を有すること。
1.2.6	採血管残量は、液晶ディスプレイに画像表示できること。
1.2.7	採血管の栓方向は左右に揃えることなく搭載できること。
1.2.8	採血管の補充は、各供給部に100本以上収納できること。
1.3	プリンタユニット部
1.3.1	印字ヘッド密度は、12本/mm以上であること。
1.3.2	8種類以上の採血管にバーコードラベルの自動貼付ができること。
1.3.3	バーコードラベルには、患者情報、採血管情報が印字できること。
1.3.4	プリンタ部・貼付部を2組以上有し、1か所が故障した場合でも、その他のプリンタ部・貼付部で搭載採血管全てを自動貼付できる機能を有すること。
1.3.5	プリンタ部・貼付部が故障した場合に、自動で採血管の搬送経路を正常プリンタ側へ切り替えし、装置を止めることなく、自動貼付作業を継続できる機能を有すること。
1.3.6	万一、プリンタ部・貼付部の全てが使用できなくなった場合には、手貼りラベル、採血指示書を患者毎に採血管トレイへ収納して準備できる機能を有すること。
1.3.7	装置の処理能力が1患者4本として300人／時間の処理能力を有すること。
1.3.8	バーコードラベルのセットは、業務効率の観点からラベルロールを差し込み、ラベル先端をガイドへ差し込むだけのセミオートローディング機能を有すること。
1.4	トレイ供給部/排出部
1.4.1	採血ミスを防止するために、通信障害や機器トラブル等で未完全発行となった採血管は、正常発行された採血管と混在しないようにエラートレイ排出場所に分別する機能を有すること。
1.5	ソフトウェア
1.5.1	任意に外来専用、病棟専用、外来／病棟併用に切り替えができること。
1.5.2	病棟用採血管準備時に、外来用の優先割り込み機能を有すること。
1.5.3	統計機能を有し、患者数や採血管数を、時間帯別、曜日別、依頼科別等で統計を出すことができ、外部にCSVファイル形式で出力できること。
1.5.4	エラー発生時、液晶ディスプレイにトラブル状況を表示できること。
1.5.5	自動採血管準備装置本体に障害、ワーニング(通知)が発生した場合は、その場所を認識されるカラー画像と対応方法が1件毎に全てが表示できること。
2.1	オンライン接続作業費用を含むこと。